

<福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(10月28日 午後3時現在)

平成23年10月28日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は給水系配管から約 3.9m^3 /時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 8月10日午前11時22分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 9月14日午後2時59分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 2.9m^3 /時、炉心スプレイ系注水配管から約 7.1m^3 /時です。
- ・ 5月31日午後5時21分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 10月27日午前10時30分、原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システムの設置工事の一環として、系統漏えい試験を実施し、系統へのインリーク量に問題がないことを確認しました。また、仮運転試験を実施し、同日午後2時30分、電気ヒーター、排気ファンの運転状態に問題がないことを確認しました。
10月28日午後0時53分、原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システムの排気ファンを起動し、試験運転を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 9月1日午後2時58分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 2.7m^3 /時、炉心スプレイ系注水配管から約 8m^3 /時です。
- ・ 6月30日午後7時47分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 7月14日午後8時1分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認しました。
- ・ 7月31日午後0時44分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 8月20日午前11時34分、4号機の使用済燃料プールにおいて塩分除去装置の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 7月15日午後2時45分、本設の残留熱除去海水系（B系）ポンプによる残留熱除去系（B系）の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 9月15日午後2時33分、原子炉は残留熱除去系、使用済燃料プールは補機冷却系および燃料プール冷却系、各々の系統による冷却を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

その他

- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時、水処理設備において滞留水の処理を開始しました。また、7月2日午後6時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを経由して原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- ・ 8月19日午後7時41分、セシウム吸着装置から除染装置へのラインと第二セシウム吸着装置の処理ラインの並列運転による滞留水の処理を開始しました。
- ・ 10月7日午後2時6分、伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的とした構内散水を、5、6号機滞留水浄化後の水を利用し、開始しました。
- ・ 10月20日午前10時から10月28日午前9時16分まで、3号機タービン建屋地階から集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋への溜まり水の移送を行いました。
- ・ 10月20日午前10時12分、2号機タービン建屋地階から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しましたが、10月28日午前9時32分、移送を一旦停止し、系統構成を確認後、同日午前9時54分、移送先を集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋に変更しました。
- ・ 10月28日午前10時、仮設タンクからメガフロートへの溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 10月27日、協力企業にて使用済燃料共用プール建屋にある使用済燃料キャスク等を取り扱う天井クレーンの年次点検を行っていた際に、当該クレーンの走行用車軸の連結部ケーシングに割れが発生していることを確認しました。今後、当該連結部の状況等の詳細について、点検を行ってまいります。

- 10月28日午前9時30分、1号機の原子炉注水ラインにおいて、注水量の制御性向上のため流量調整弁の追設作業を行うにあたり、1号機および2号機の原子炉への注水について、常用注水ラインから非常用注水ラインへの切り替えを実施しました。
その後、同作業終了に伴い、午後1時30分、非常用注水ラインから常用注水ラインへの切り替えを実施しました。なお、切り替えにあわせ、1号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約3.9m³/時に調整、2号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約3m³/時、炉心スプレイ系からの注水量を約7m³/時に調整しました（午後2時、流量安定を確認）。
- 10月24日午前11時30分頃、水処理設備淡水化装置の逆浸透膜処理ユニット内のポンプグランド部より、水漏れ（約20L）しているのを確認したため淡水化装置を停止しました。
その後、水漏れの停止を確認するとともに、同日午後2時30分、同ポンプを使用している系列を除外して、その他の淡水化装置を起動し、午後4時20分、定常流量（約50m³/時）に到達しました。その後、10月27日から10月28日にて、同ポンプの取り替えを実施しました。
- 10月28日午後2時20分頃、当社社員1名が事務本館にて書類の確認作業を行っていたところ全面マスクを締め過ぎたため気分が悪くなり、嘔吐した際に一時的に全面マスクを外したことから、念のため、ホールボディカウンタを受検します。なお、顔面に放射性物質の付着はありません。

以 上